

2013年8月1日

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

ブライダル総研 恋愛観調査2013

- I 恋人がいる人:27.5% 今まで付き合ったことのない人:29.6% ※20代から40代未婚男女において「積極的な行動」と「柔軟なコミュニケーション」に違いあり。恋人をつくるための大きなポイントに
- II 約10人に1人以上がインターネットがきっかけで恋人と出会っており、恋人をつくる主要な方法の一つと言える
- III 目立つ20代の消極性。年代が若くなるにつれて『草食化』の自覚が高まる。「異性との友情」への考え方の違いが背景に
- IV 「男性よりも自己評価が高く、自信がある女性」(自己採点)
「異性に対し、女性よりも外見重視の男性、男性よりも内面重視の女性」(異性に求める点数)

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ(本社:東京都千代田区 代表取締役社長 冨塚 優)が運営するリクルートブライダル総研では、恋愛実態と恋愛観について詳細に把握するために、「恋愛観調査2013」を実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

I <恋人有無の状況と価値観> P3・4

恋人がいる人は、未婚者の27.5%。一方、今まで付き合ったことのない人は29.6%

- 20~40代未婚者全体で、恋人がいる人は27.5%。
- 20~40代未婚者全体で、今まで付き合ったことがない人は29.6%。
- 年代別の特徴をみると、20代男性の「今まで付き合ったことがない」割合が44.3%と高い。

「積極的な行動」と「柔軟なコミュニケーション」が、恋人の有無に影響を与えている

- 恋人がいる人ほど、「積極的な行動」と「柔軟なコミュニケーション」の項目が高い。

II <恋人との出会いのきっかけ> P5

約10人に1人以上がインターネットがきっかけで恋人と出会っている

- 現在の恋人との出会いにおいて、インターネットがきっかけになった人は、全体11.4%、男性13.8%、女性で9.7%。

III <年代別の恋愛観> P6・7

恋愛に対して『理想』が高いにもかかわらず、消極的な20代

- 年代が下がるにつれて、恋愛に対しての理想が高まる。
- 年代が下がるにつれて、『草食系』の自覚が高まる。特に20代男性は、約半数(48.1%)が自覚あり。

20代は、恋人関係にならなくても異性とのつながりが保てる状況があり、消極的にさせる一因と考えられる

- 「恋人と別れても、友人として付き合っていきたい」は、男女とも20代が最も高い。
- 「男女の友情が成り立つと思う」は、男女とも20代が最も高い。

IV <自己採点/異性に求める点数> P8・9

男性よりも女性の方が自分の内面、外見ともに自信を持っている

自己採点(20~40代全体/平均点):内面:男性54.9点/女性58.3点 外見:男性50.9点/女性54.6点

※どの年代でも女性の方が自己採点は高い

異性に求めるものを見ると、男性は女性よりも外見重視、女性は男性よりも内面重視

異性に求める点数(20~40代全体/平均点):内面:男性70.4点/女性75.0点 外見:男性63.9点/女性61.4点

※どの年代でも内面は女性の方が高く、外見は男性の方が高い

◆出版・印刷物へデータを転載する際には、「恋愛観調査2013(リクルートブライダル総研調べ)」と明記いただけますようお願い申し上げます。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【調査概要】

【調査方法】

インターネットによるアンケート調査

【調査期間】

2013年3月18日 ～3月19日

【調査対象】

首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)、東海(愛知・岐阜・三重)、関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山)在住の20歳～49歳までの未婚(結婚経験がない)の男女

【集計サンプル数】

2352人

割付:人口比にて割付。「平成22年国勢調査人口等基本集計」を基に性別ごとに、年齢(5歳区切り)別割合になるようにサンプル数を割り付けた

【回答者のプロフィール】

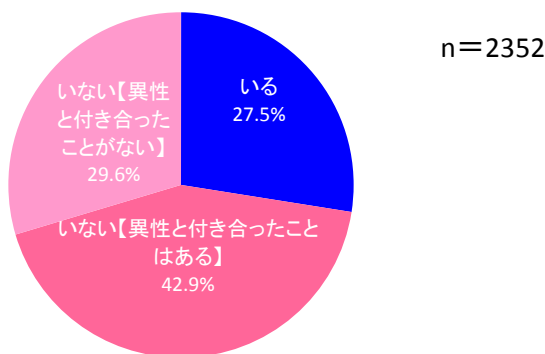
【未婚者:2352人】

男性	20-24歳	351	14.9%
	25-29歳	302	12.8%
	30-34歳	228	9.7%
	35-39歳	206	8.8%
	40-44歳	146	6.2%
	45-49歳	102	4.3%
	合計	1335	56.8%
女性	20-24歳	323	13.7%
	25-29歳	250	10.6%
	30-34歳	164	7.0%
	35-39歳	132	5.6%
	40-44歳	89	3.8%
	45-49歳	59	2.5%
	合計	1017	43.2%
全体合計	2352	100.0%	

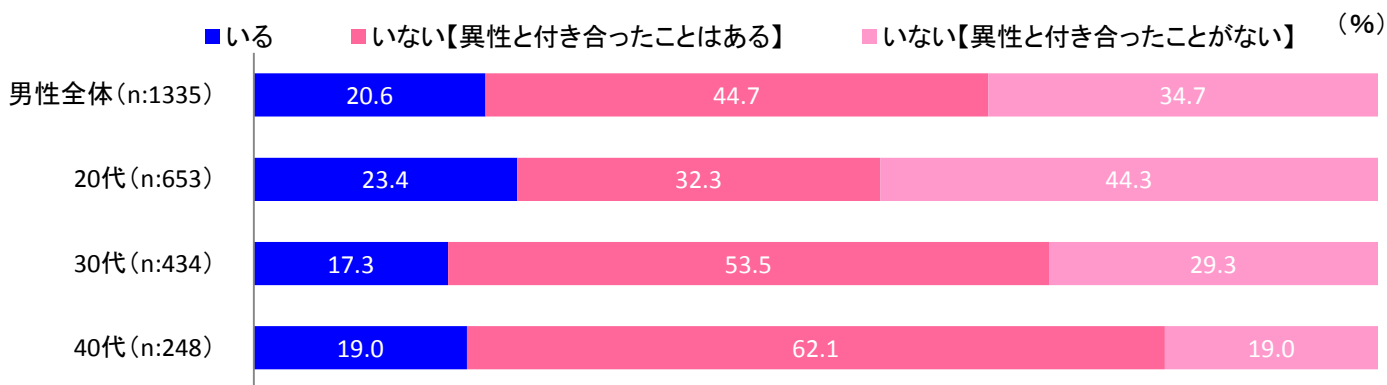
20～40代未婚者全体を見ると、「恋人がいる人」を「今まで付き合い合ったことがない人」が上回る結果に。

20～40代未婚者において、「恋人がいる人」は27.5%。「恋人がいない(異性と付き合い合ったことがない)人」は29.6%。「恋人がいない(異性と付き合い合ったことがない)人」の中で、性・年代別で見ると、20代男性が44.3%と最も高くなった。

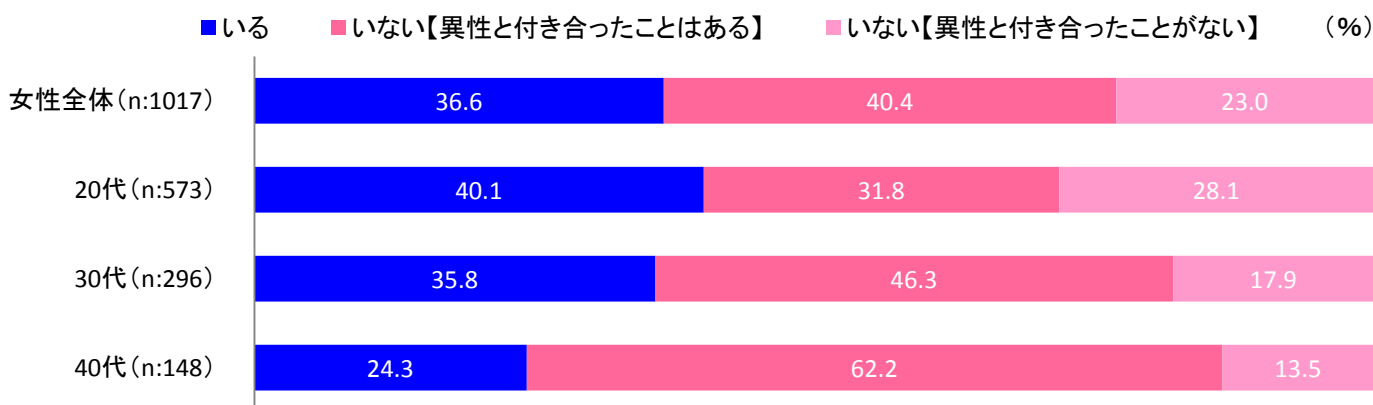
■現在の恋人の有無の割合（20～40代未婚者全体）



■現在の恋人の有無の割合（20～40代未婚男性）



■現在の恋人の有無の割合（20～40代未婚女性）

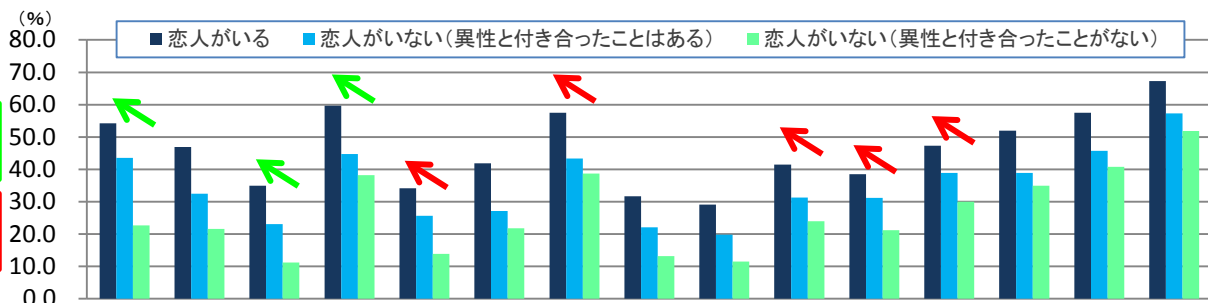


「積極的な行動」「柔軟なコミュニケーション」が、恋人の有無に大きな影響を与えている。

「あれこれ思い悩むより、まず動いてみる方である」「なにごとにも興味を持ち、前向きに取り組んでいく方だ」といった積極的な行動や、「相手に合わせて柔軟に対処できる」「初対面の人でもすぐ打ち解けられるタイプである」といった柔軟なコミュニケーションの項目は、「恋人がいる人」「恋人がいない(異性と付き合ったことはある)」「恋人がいない(異性と付き合ったことはない)」の順で割合が高くなる。

■価値観や意識について (20~40代未婚男性 / 「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計)

※価値観、意識、行動などの設問の中から「恋人がいる」と「恋人がいない(異性と付き合ったことがない)」の差が大きい順に上位15項目を掲載

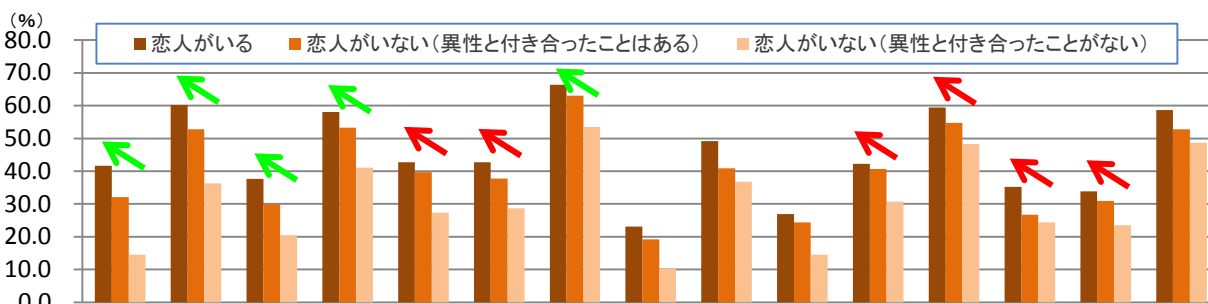


コミュニケーションに関する項目

積極的な行動に関する項目

■価値観や意識について (20~40代未婚女性 / 「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計)

※価値観、意識、行動などの設問の中から「恋人がいる」と「恋人がいない(異性と付き合ったことがない)」の差が大きい順に上位15項目を掲載



コミュニケーションに関する項目

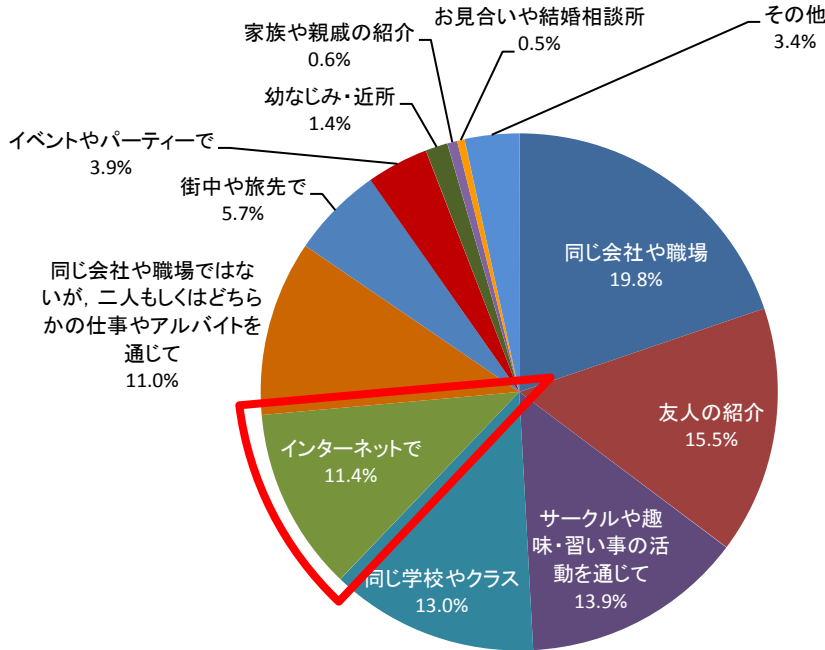
積極的な行動に関する項目

現在恋人がいる人のうち、約10人に1人以上はインターネットがきっかけで恋人を見つけている。特に、男性では3番目に割合が大きく、恋人をつくる主要な方法の一つと言える。

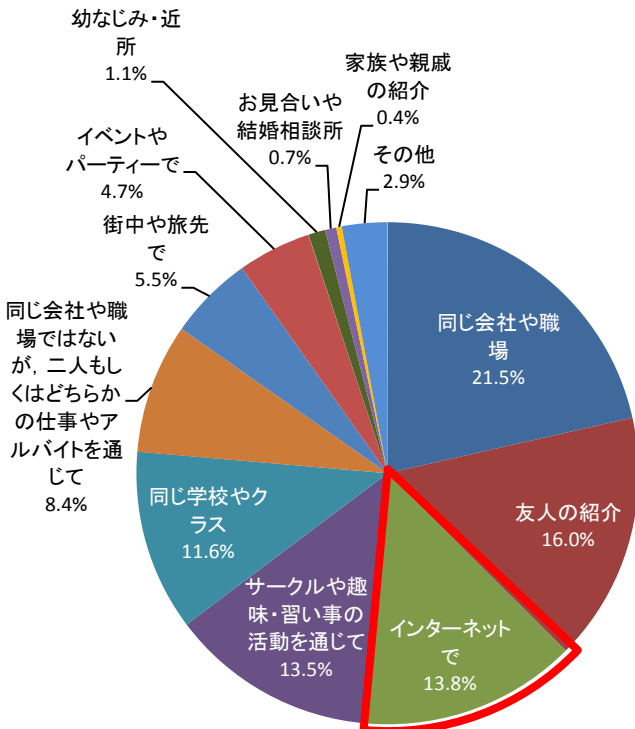
現在恋人がいる人において、その恋人との出会いのきっかけを見ると、「同じ会社や職場」「サークルや趣味・習い事の活動を通じて」など自分の所属している『場』や、「友人の紹介」といった人を介した『場』に加え、「インターネットで」が全体で11.4%、男性で13.8%、女性で9.7%と主流になりつつある。

■現在の恋人との出会いのきっかけ

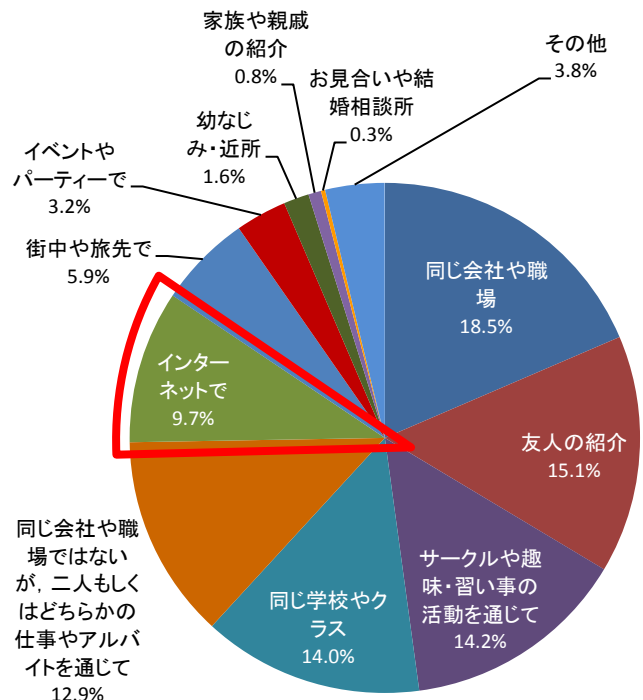
【20～40代未婚者全体／現在恋人がいる人】 n:647



【20～40代未婚男性／現在恋人がいる人】 n:275



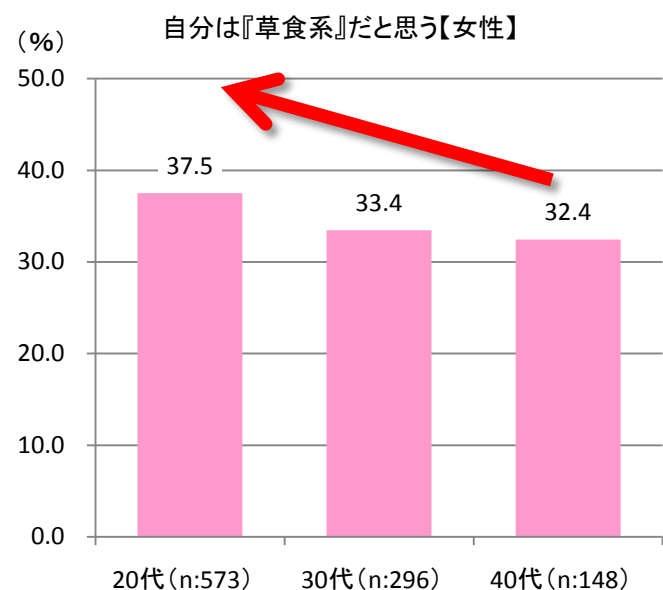
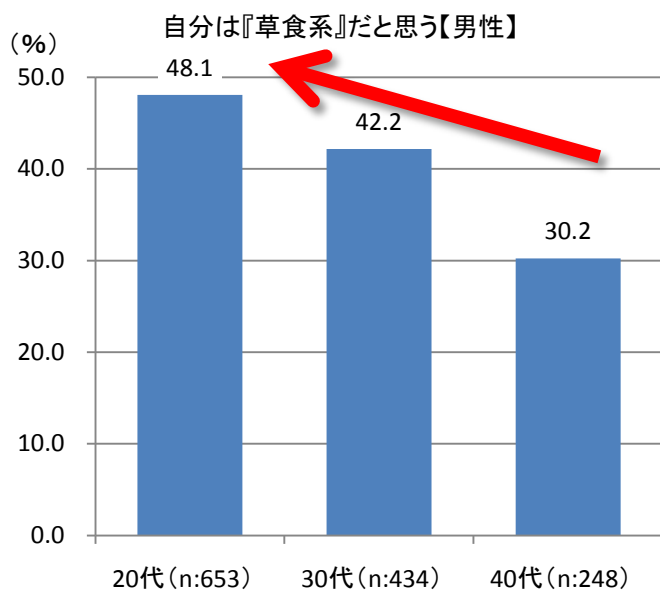
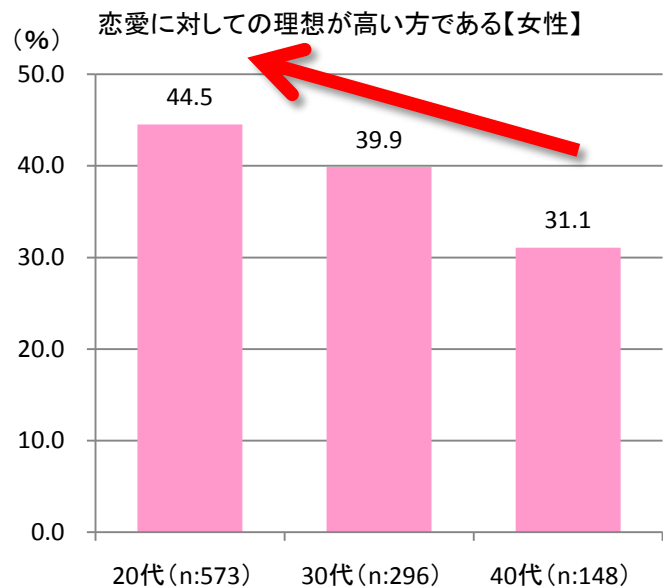
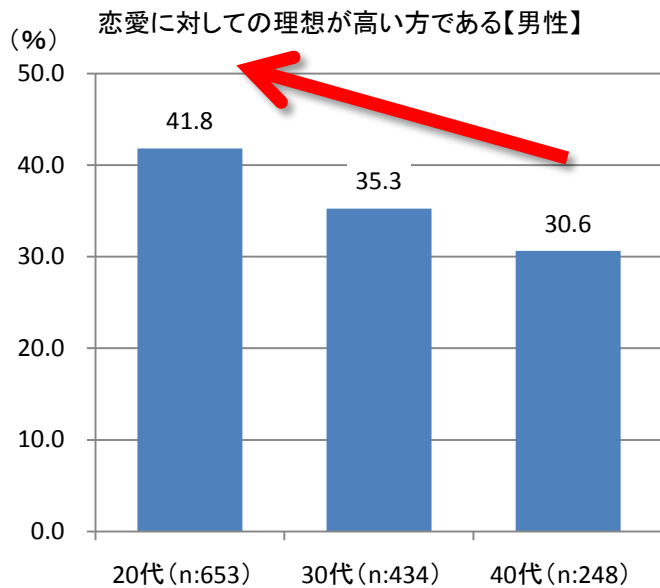
【20～40代未婚女性／現在恋人がいる人】 n:372



恋愛に対して『理想』が高いにもかかわらず、『草食系』との自覚が高い20代。

「恋愛に対しての理想が高い方であるか」を尋ねた所、年代が下がるにつれて高まる傾向となった。また、「自分は『草食系』であるか」に対しても同様の傾向となった。20代の方が恋愛に対し理想が高いが、『草食系』との自覚があり消極的な姿勢がうかがえる。

■恋愛観の特徴（20～40代未婚男女年代別／「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

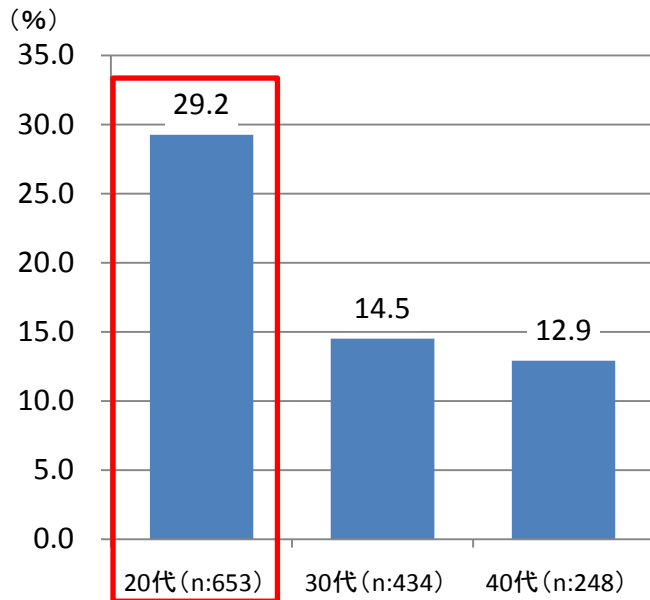


30代、40代と比べ、20代は『異性との友情』が成立しやすいと思っている。恋人にならなくても異性とのつながりを保てる状況ができつつあり、恋愛に対し消極的にさせているのかもしれない。

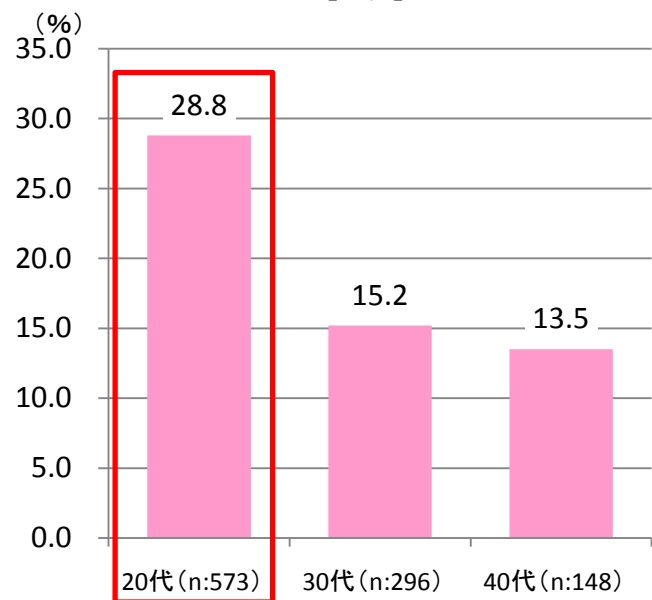
「恋人と別れても、友人として付き合いいきたい」は、男女とも20代が最も高い。また、「男女の友情が成り立つと思う」に対しても、男女とも20代が最も高い。

■別れた恋人との関係（20～40代未婚男女年代別／「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

恋人と別れても、友人として付き合いいきたい【男性】

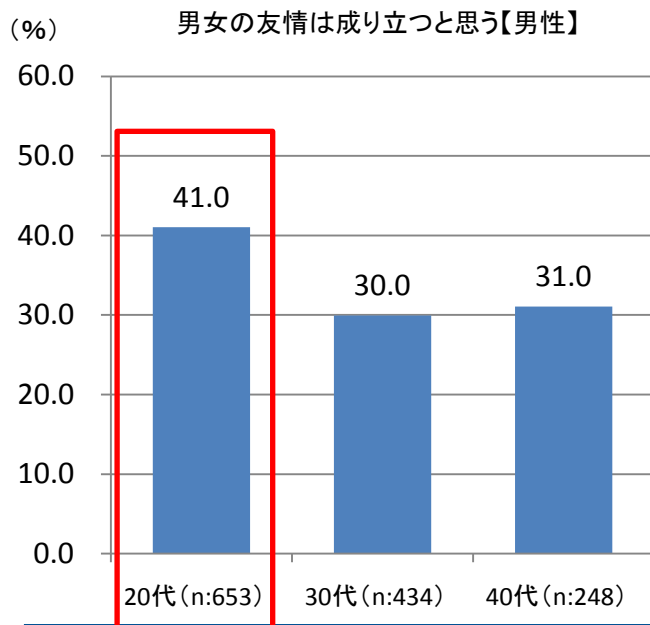


恋人と別れても、友人として付き合いいきたい【女性】

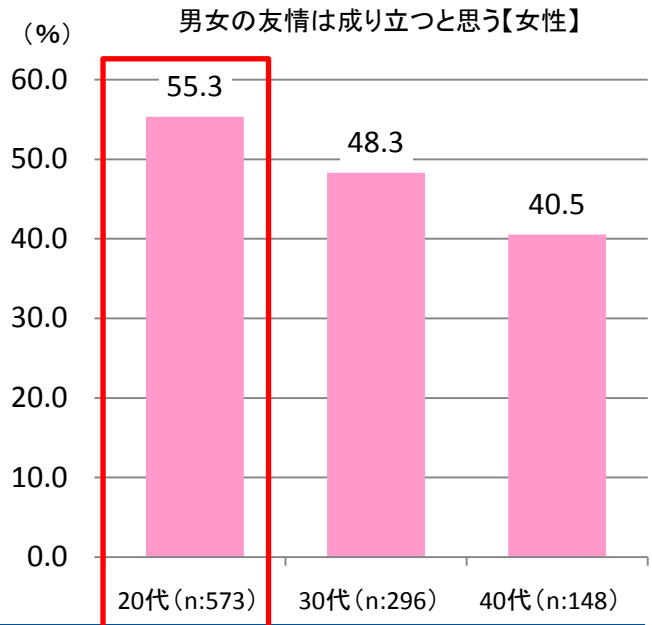


■男女の友情（20～40代未婚男女年代別／「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

男女の友情は成り立つと思う【男性】



男女の友情は成り立つと思う【女性】

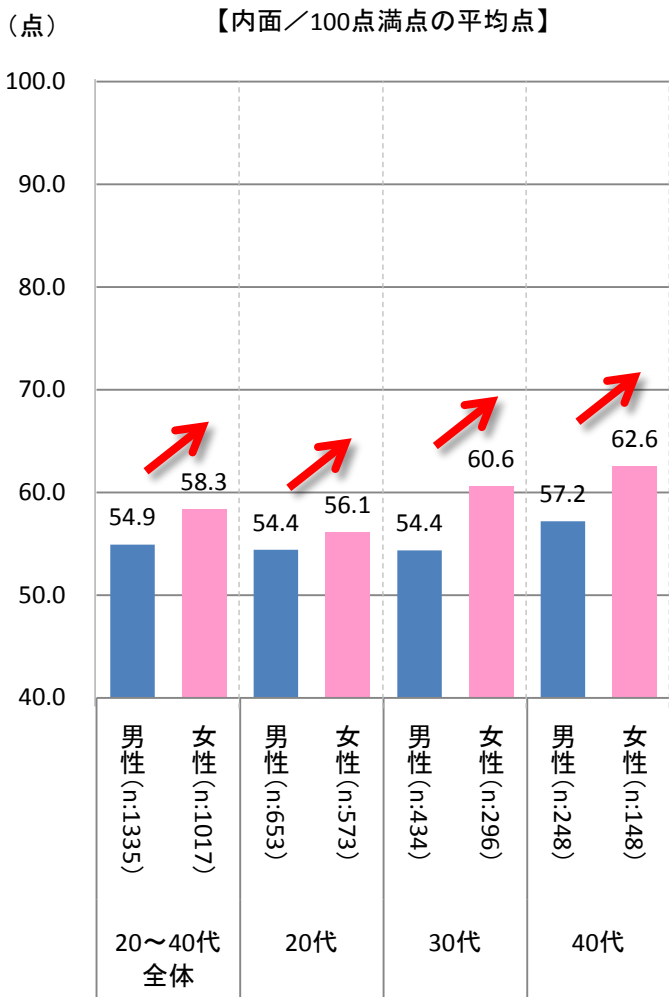


年代に関わらず、男性よりも女性の方が自分の内面、外見ともに自信を持っている。

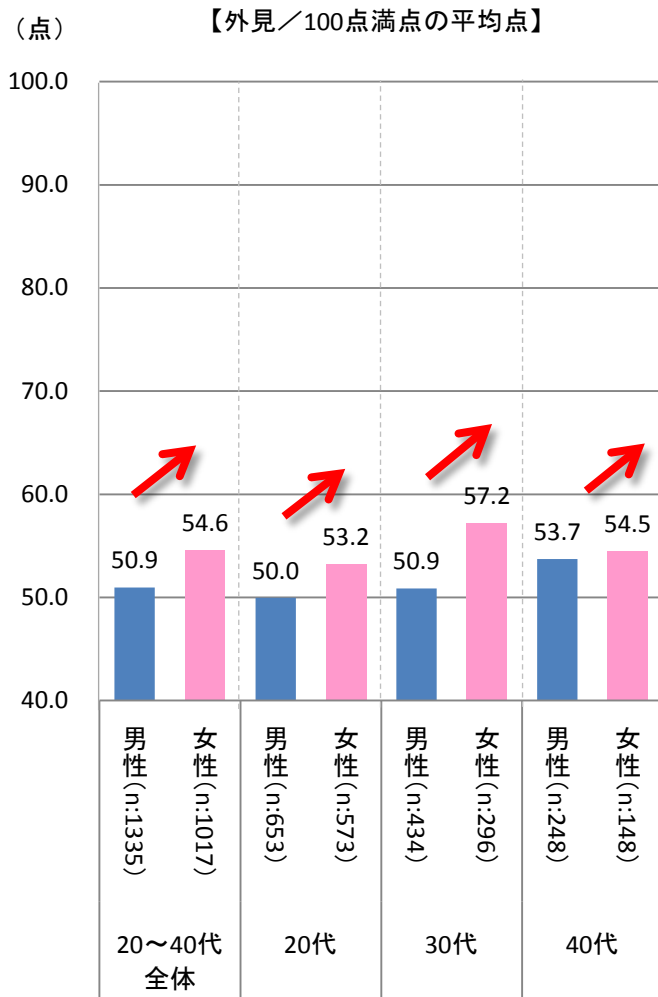
「あなた自身について何点だと思うか」に対し、どの年代においても男性より女性の方が平均点が高い。20～40代全体において、内面では男性54.9点に対し女性58.3点、外見でも50.9点に対し54.6点となっている。

■自己採点（20～40代未婚男女年代別）

あなた自身は何点だと思いますか
【内面／100点満点の平均点】



あなた自身は何点だと思いますか
【外見／100点満点の平均点】

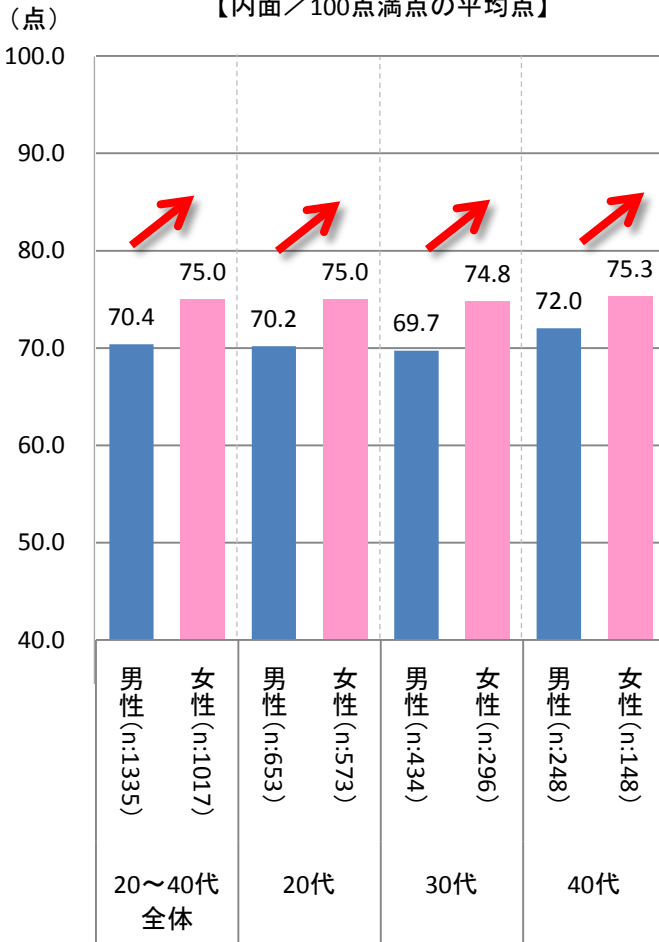


恋人として付き合う異性への基準点をみると、男性よりも女性の方が内面を、女性よりも男性の方が外見を重視している。

「何点以上の異性であれば、告白されたら付き合うか」に対し、内面ではどの年代でも男性より女性が高い点数になった。一方、外見ではどの年代でも女性より男性の方が高い点数になり、男性よりも女性の方が内面を、女性よりも男性の方が外見を、異性に求めていると言える。

■異性に求める基準点（20～40代未婚男女年代別）

何点以上の異性であれば、
告白されたら付き合おうと思いますか
【内面／100点満点の平均点】



何点以上の異性であれば、
告白されたら付き合おうと思いますか
【外見／100点満点の平均点】

